

Smile

通信



埼玉県住まいづくり協議会

平成25年7月 編集・発行 / 埼玉県住まいづくり協議会

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124

大宮合同庁舎ビル2階(埼玉県住宅供給公社内)

TEL 048-830-0033 ホームページアドレス <http://www.sahn.jp/>

割烹 堯田



contents

シリーズ埼玉の住まい

荒川とともに 長瀬町 皆野町	表紙、2・3頁
平成25年度総会	4・5頁
新会長あいさつ	6頁
平成25年度 情報普及部会 第1回講習会	
講演「健康を支援する屋内外の環境整備」	6・7頁
埼玉住み心地の良いまち大賞募集開始	8頁
埼玉県環境住宅賞募集開始	8頁

vol. 52

荒川とともに

ながとろ みな

長瀨町 皆野町

埼玉県立近代美術館
専門員 兼 学芸員

伊豆井 秀一



旧永田医院①



国指定重要文化財 新井家住宅③



塩谷家②

寄居を抜け秩父鉄道波久礼(はぐれ)駅を過ぎるあたりから左手に荒川、右側に秩父の山並みがせまり風景が変わってくる。国道一四〇号は、長瀨町、皆野町を貫通し古い街並みを変貌させている。まず、長瀨、野上駅の周辺を見ていく。

一四〇号沿いにベイウィンドウ、下見板張りの水色の建物がひとときわ眼をひく。旧永田医院①。木造平屋。今は閉じているが二代目まで内科・外科の診療を行っていた。昭和八(一九三三)年頃の築。高い天井の廊下、奥にはレントゲン室も残る。受付玄関から上がった四、五畳の部屋は、以前畳敷で地元の人たちの格好のコミュニケーションの場だったという。テレビドラマにも登場したレトロな雰囲気たっぷりの医院建築である。

少し先には付近で女医の小児科として知られていた旧村田医院。醸造業を営んでいたが、先代が店蔵の一階を改装し、大正五(一九一六)年に開院したという。石造りの門柱が庭に寂しく横たわっていたがかつての偉容は残っている。昔、野上の眼科は名医で評判だった。それが駅前の落合医院。建物は新しく建て変わっていた。その前に板塀でかこまれた塩谷家②がある。長瀨総合博物館のコレクションはこちらの先代のもの。先の落合医院とは親戚。木造平屋の主屋は大正三(一九一四)年(一九一五)年の築で近くの棟梁による。茶室のある離れは昭和六(一九三二)年(一九三三)年の築。こちらには庭が表、裏、そして中庭と三ヶ所。そのうち表の庭には奇妙な金属製の棒状のようなものが

二機。これは戦時中、将校が離れにとまったときに毎日布団を干した物干し台だという。戦時の遺物で現役である。

この付近の住宅で忘れてならないのは板葺農家の典型として重文に指定されている旧新井家住宅③。木造平屋。土間と四部屋からなる。残された延享二(一七四五)年の祈禱札からこの頃のものと推定されている。特筆すべきは屋根の構造。栗板を敷き、そこに石を載せる。荒川から拾い上げられた川石が見事にラインを成している。軒先の格子も農家としては珍しい。内部は奥の部屋は畳敷きだが、ほかは板敷き。時を封入した板戸も美しい。

次に皆野町の駅前通り。丸八商店をはじめ、レトロな街並みが続く。昭和十四(一九三九)年築のモルタル造りの金子米店精米所④。戦時下、皆野地区内の数軒の米店の精米を一手に処理したという。時代を乗り越え風雪に耐えてきた。

長瀨、皆野周辺の建築で特徴を挙げるなら、養蚕農家の存在だろう。樋口駅と野上駅のほぼ中央。総合射撃場に向かう手前、山間の野上下郷地区。付近には林姓が二十五軒ほどあるという。そのうちの軒、林家⑤。豪壮な養蚕農家で竣工は明治二十三(一八九〇)年。特筆すべきは隣接する土蔵の背後の木造二階の蚕室に主屋の二階が渡り廊下で結ばれている部分。数軒おいて門と塀に囲まれた新井家⑥。こちらは秩父地域でも有数の種屋、もと「秩父蚕種(有)」。広い敷地には以前七、八棟の蚕室が連なり、林家に見るようにその蚕

室の各棟を渡り廊下が結んでいたという。重厚な木造二階の主屋は日露戦争を挟んだ頃のもの。

「お助け普請」といえば、江戸期以来の、不景気で仕事のない職人たちの救済のために生み出された普請。ところが、野上下郷地区では「普請無尽」という言葉を耳にした。地区周辺の人たちがくじをつくり、くじをあてた人の新築のために材木の供出を含め労力を提供するという互助制度である。そのうちの一軒、**根岸家**。木造二階建ての典型的な養蚕農家で、明治初期のもの。

もう一軒、**染野家**⑦。こちらもも普請無尽による。大正期に公会堂がつけられるまで地域の集会所の役割を果たしたという。堂々たるかまえて土間の天井は高く、居間は帯戸も残る田の字形の間取り。部屋の間取りにぐるりと廊下をまわす。明治末の築という。緑泥片岩の重なる石垣に見事に映えている。他にも**大澤家**の洋館も見える岩田地区の模範蚕室を改修した**割烹堯田**（ぎょうた、表紙）など。



金子米店精米所④

皆野町下日野沢川地区。車でしばらく山間の道をのぼって行くと突然視野が開ける。見上げると豪壮な二階建ての養蚕農家。明治期大火に襲われた後にたてられた木造二階の養蚕農家、**山本家**⑧。

さらに奥に進むと二五〇年ほど前の築で村長もつとめた**田村家**。天井からは蚕を温めるために炭をいれたトタン製の方形の火炉がさがっていた。

日野沢川を下ると麓付近には木造二階に三つある煙出しの間から魔除けの獅子噛みの屋根瓦が見下ろす**浅見家**。昭和元（一九二六）年築。こちらも日野沢村の村長を務めた家である。

同じく皆野町、**門平**（かどひら）家⑨。家の中に入り驚いたのは一階土間の大きな箱階段。座敷から上がる際に使うならともかく、土間からである。延享年間、現在の皆野日野沢の門平（かどひら）



林家⑤

地区の名主が奈良尾から移住してきたと『日野沢村誌』が伝える当家。主屋は一階四部屋と養蚕用の二階。隣接して二階建ての蔵が二つ。秩父事件の際には難にあったという。



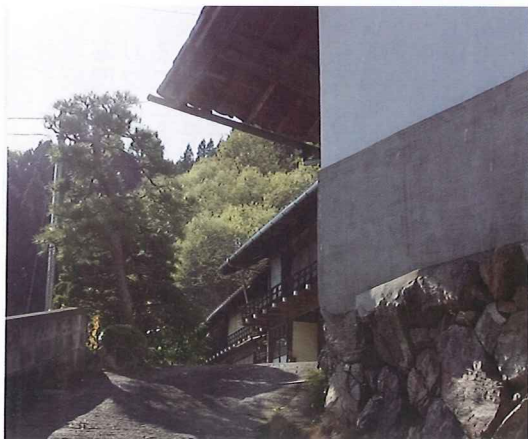
新井家⑥



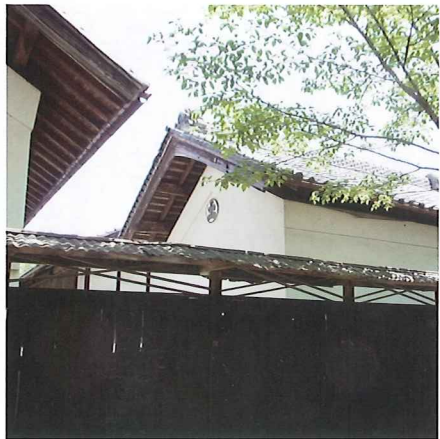
染野家⑦

風土に根ざし日本の近代を経済の側から支えてきた養蚕農家の建物は、山あいに美しくたち続いている。

伊豆井秀一（いずいひでかず）
昭和二十四年生まれ。埼玉県立博物館、埼玉県立近代美術館、埼玉県教育庁生涯学習課を経、現在埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員。専門は日本近・現代美術。著書に『昭和の美術』（共著、毎日新聞社）、『小茂田青樹画集』（共著、日本経済新聞社）など。



山本家⑧



門平家⑨



平成25年度 総会開催

5月24日さいたま市

平成24年度事業報告

去る5月24日、さいたま市のさいたま商工会議所会館において、平成25年度埼玉県住まいづくり協議会総会が開催された。
規定により、山本会長が議長となつて審議は進められた。
上程、審議され可決された議案は、以下の通りである。

- 第1号議案 平成24年度事業報告(案)
- 第2号議案 平成24年度収支決算(案)
- 第3号議案 平成25年度事業計画(案)
- 第4号議案 平成25年度収支予算(案)
- 第5号議案 除名会員(案)について
- 第6号議案 会則一部改正(案)及び役員の変更(案)について

このうち、第1号議案と第2号議案、第3号議案と第4号議案はそれぞれ、関連するものとして一括上程された。全ての議案は、原案通り承認された。

《情報普及部会》

○住生活月間シンポジウムの開催

平成24年10月 浦和コルソホール
(講演) テーマ 「埼玉の未来を拓く住まいづくり」

第1部 「日本一激しい高齢化に直面する埼玉での住まいづくり」

明治大学理工学部建築学科教授 園田 眞理子氏

第2部 「固定価格買取制度」スタートと「住まいに役立つFIT制度の活用方法」

日本再生可能エネルギー総合研究所 代表 北村 和也氏

(展覧会)

・埼玉住み心地の良いまち大賞入選作品展
・住宅リフォーム推進委員会展示

○会員向け講習会の開催

・第1回講習会 平成24年5月
「放射能の基礎知識」

原電ビジネスサービス株式会社
取締役社長 佐藤 忠道氏

・第2回講習会 平成25年2月
東京ガス供給指令センター現地見学会

・臨時見学会 平成24年9月

東京ガス磯子スマートハウス見学会
臨時講習会 平成24年12月
認定低炭素住宅の認定制度講習会
協力 住宅金融支援機構
臨時セミナー 平成25年1月
「フラット35」対応 「木造住宅工事仕様書」解説セミナー
協力 住宅金融支援機構

《広報部会》

○Smile通信

第48号発行 (平成24年7月)

第49号発行 (平成24年10月)

第50号発行 (平成25年1月)

第51号発行 (平成25年3月)

○ホームページによる広報活動

・全面改訂の実施(3月アップ)

○協議会活動ニュースリリース作成とマスコミ対応

《埼玉住み心地の良いまち推進委員会》

○第8回埼玉住み心地の良いまち大賞

募集内容 埼玉県内の身近な「まち」の良さを再発見し、推薦していた

応募点数 1357点

表彰 知事賞、教育長賞、会長賞、審査委員長賞各1点、協賛企業賞25点、優秀賞40点

○住まいの防犯アドバイザー養成・登録事業

・フオローアップ研修会

・防犯の家認証制度

・ステッカー発行枚数230件

・無料住宅防犯相談会

《住宅リフォーム推進委員会》

○協議会ホームページに登録事業者の定期講習会への参加状況を公開。

○定期講習会を6回実施。(うち1回はシンポジウム併催)

○新規登録事業者向け説明会を3回実施

○新規定登録事業者向け説明会を3回実施

○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施

○定期講習会皆勤者を表彰

○住宅リフォーム相談会の実施

○「埼玉県の次世代へ繋ぐリフォームRe・i・s・mリズム」が国土交通省の長期優良住宅先導事業に採択される

○「マンションリフォーム委員会」

○「マンション居住者等への高齢者対応リフォームの提案について検討」

○防犯の家認証事業(共同住宅タイプ)について検討

《サステイナブル研究委員会》

○エコタウン&スマートハウス分科会

○先進事例の研修会の開催

○行政等からの情報収集

○エコスマートタウン・エコハウスの導入による具体的な事例研究

○会員同士のオープン技術の勉強会の開催

○ブランド化事業分科会

○国補助事業「地域型住宅ブランド化事業」の平成24年度第2回公募に「コバトンの家グループ」(参加14社)として採択された。

○環境住宅賞分科会

○部門賞の拡大により、新築限定からリフォームや個人の提案も広く受けることとし、参加しやすい賞へとスキームを再検討した。

《木造住宅生産体制強化推進委員会》

○国土交通省補助事業で地域の木造住宅生産を担う大工技能者を養成する長期優良住宅講習会2回

○省エネ施工技術者講習会21回

《応急仮設プロジェクトチーム》

○体制づくり及び供給能力等の検討

○本協議会標準仕様書の作成

○連絡体制構築

《住宅施策研究会及び理事懇談会》

○平成24年8月22日に開催した

平成24年度収支決算

一般会計

収入	11339万2995円
(含前年度繰越金284万2074円)	
支出	1126万3959円
収入	515万7023円
(含前年度繰越金228万5074円)	
支出	156万1012円
収入	330万3824円
(含前年度繰越金185万4252円)	
支出	161万8324円

長期優良住宅特別会計
 収入・支出 6548万9000円
 住宅市場技術基盤強化推進事業特別会計
 収入・支出 808万3154円

平成25年度事業計画(案)

- 《情報普及部会》
 ○住生活月間シンポジウムの開催
 ○会員向け講習会の開催(年2回開催)
 ○協議会会員の募集活動についての研究
 ○新たな情報発信の方法の検討
 《広報部会》
 ○会報「Smile通信」を年4回発行
 ○ホームページ改訂(随時)
 ○ニューズリリースの作成とマスコミ対応
 《埼玉住み心地の良いまち推進委員会》
 ○第9回埼玉住み心地の良いまち大賞
 事業募集審査表彰展覧会開催
 入選作品集作成
 ○住まいの防犯アドバイザー養成・登録事業
 ○防犯の家認証事業
 《住宅リフォーム推進委員会》
 ○登録者講習会
 ○新規登録事業者向け制度説明会
 ○定期講習会参加者への表彰実施
 《マンションリフォーム委員会》
 ○高齢者対応共同住宅の推進
 ○防犯の家(共同住宅タイプ) 認証事業
 《サステイナブル研究委員会》
 ○エコタウン&スマートハウス分科会
 ・先進事例の研修会の開催
 ・行政等からの情報収集
 ・会員会社の環境への取組の勉強会の開催
 ○環境住宅賞分科会
 「埼玉県環境住宅賞」の実施
 《木造住宅生産体制強化推進委員会》
 ○省エネ施工技術者講習会の開催
 《応急仮設プロジェクトチーム》
 標準仕様書に基づき供給能力、生産体制、コスト面等の検討など
 《新築地域型ブランド化事業委員会》
 新築地域型住宅ブランド化事業への参加者募集及び応募
 《住宅施策研究会及び理事懇談会》
 ○住宅施策についてテーマを決め、適宜勉強会を開催する。

平成25年度収支予算(案)

一般会計
 収入 1184万1741円
 (含前年度繰越金12万9036円)
 支出 1089万9000円
 防犯アドバイザー特別会計
 収入 489万1391円
 (含前年度繰越金359万6011円)
 支出 156万4760円
 リフォーム事業特別会計
 収入 311万5800円
 (含前年度繰越金168万5500円)
 支出 145万5000円
 住宅市場技術基盤強化推進事業特別会計
 収入・支出 1500万0000円
 地域型ブランド化事業特別会計
 収入・支出 1680万0000円

新役員ほか

- 新役員(○会長、○副会長)
 ○風間 健 (株)高砂建設 代表取締役社長
 ○南沢郁一郎 (株)埼玉県都市整備部長
 ○大久保浩成 (株)中央住宅取締役会長
 ○黒須久雄 (株)埼玉県中小建築工業協会 会長
 ○宮沢俊哉 (株)アキユラホーム 代表取締役社長
 ○鈴木静雄 (株)リブラン 取締役会長
 ○山本拓己 (株)OKUTA 代表取締役社長
 ○小島 剛 (株)埼玉新聞事業社 代表取締役社長
 ○前田一彦 (株)埼玉県住宅供給公社理事長
 ○成田武志 (一財)さいたま住宅検査センター理事長
 ○松本眞理 独立行政法人住宅金融支援機構 埼玉センター長
 ○宇佐見佳之 近藤建設(株) 代表取締役社長
 ○永瀨秀則 (株)LIXILジャパンカンパニー 執行役員
 ○小宅 弘 (株)小泉北関東 代表取締役
 ○牧 毅 東京ガス(株)埼玉支社 支社長

- 村井勝行 大和ハウス工業(株) 埼玉支社長
 居野上直鄧 積水ハウス(株) 埼玉営業本部企画部長
 中内啓夫 (株)中央ビル管理 取締役
 橋本 巖 株式会社リゾン 代表取締役会長
 石川幸彦 ミサワホーム西関東(株) 代表取締役社長
 監事
 江副弘隆 (株)埼玉りそな銀行 取締役兼常務執行役員
 秋元 博 (株)武蔵野銀行 執行役員兼営業推進部長

新運営委員(○委員長、○副委員長)

- 武井啓明 (株)アキユラホーム 経営企画部長
 ○吉田弘行 埼玉県都市整備部 住宅課長
 ○新居健二 (株)中央住宅 経営企画部秘書室長
 ○川井正仁 埼玉県中小建築工業協会 専務理事
 ○福島直樹 (株)高砂建設専務取締役
 ○今泉敏明 埼玉県住宅供給公社 常務理事
 田代聡夫 (株)リブラン 土地活用部長
 酒井裕三 (株)OKUTA 取締役執行役員
 武井雅史 (株)埼玉新聞事業社取締役
 高野純司 (一財)さいたま住宅検査センター 住宅保険部次長
 松本眞理 独立行政法人住宅金融支援機構 埼玉センター長
 佐々木登喜男 近藤建設(株)住まい統括部 住宅営業グループマネージャー
 田中孝治 (株)LIXILジャパンカンパニー 埼玉支社副支社長
 山本富雄 (株)小泉北関東営業部次長
 相野谷毅 東京ガス(株)埼玉支社 埼玉住設営業部長
 佐藤 新 大和ハウス工業(株)埼玉支社 埼玉分譲住宅営業所長
 上田裕弘 積水ハウス(株) 埼玉営業本部企画部課長
 久保雅人 (株)中央ビル管理 業務管理部 課長

- 丸尾義則 (株)リゾン 総合企画室長
 山田和以 ミサワホーム西関東(株) 総合企画部次長
 相談役・名誉会員
 笠原高治 ポラス(株) 理事
 高野政次 ミサワホームインゲ(株) 取締役常務執行役員

会員増強キャンペーン表彰

- 協議会では、会員増強キャンペーンに功績のあった次の8会員を表彰した。
 (株)アキユラホーム
 埼玉県住宅供給公社
 高野名誉会員
 (株)中央住宅
 (株)中央ビル管理
 (株)高砂建設
 (株)リブラン
 住宅金融支援機構 埼玉センター

住宅リフォーム 登録事業者表彰

- 協議会では、平成24年度の講習会に毎回出席率の良い次の13社を表彰した。
 上武・リフォーム
 横尾建設(株)
 (有)谷島工務店
 (株)OKUTA
 (株)ポラスのリフォーム
 近藤リフレサービス(株)
 (株)アキユラホーム
 (株)角栄ホームズ
 (株)やねかべ本舗
 快適空間(株)
 (株)五大工務店
 (株)ケーズホーム
 (株)高砂建設

健康を支援する 屋内外の環境整備

首都大学東京大学院教授
星 旦二 氏



新会長ごあいさつ
埼玉県住まいづくり協議会
会長 風間 健

過日の理事会の決議により、このたび山本拓己氏の後任として会長に就任いたしました風間健（株式会社高砂建設代表取締役）と申します。

住まいづくり協議会の歴史も今年で17年目を迎えます。微力非才の身ではありますが、初代中内会長、第二代宮沢会長、第三代山本会長が築いた礎を守り、協議会の発展のために新任務に邁進する覚悟でございます。

今期の方針としましては、毎回

健康で長生きをするというのが私の研究テーマですが、医学の領域だけではなく、様々な分野の病気になる方法について考えています。

皆さんにお配りした資料の冒頭に、「11の質問」があります。

これらは全て正しいことです。健康は、決して医学だけではなくて、家族と一緒に楽しく過ごす住居、リビングや、食卓がすぐく大事です。親と一緒に食事をしていく、そういう子供たちは、見事に好ましく育ちます。将来つきたい職業が明確だったりします。夢のある高校生は一生懸命勉強しますし、酒、たばこ、薬物に手を出しません。

口紅、化粧、身だしなみをして外に出ている女性は圧倒的に長生きです。

逆に閉じこもって、ほとんど出なくなり、趣味もやめ、地域活動もやめた人は、男性の場合3年経つと半分、6年経つと7割方亡くなってしまうというデータもございます。

住宅の間取りも、健康とは無縁ではありません。

応募される人が増えている大賞事業を担っている「埼玉住み心地の良いまち推進委員会」、住宅の省エネ改修や耐震性に取り組んでいる「住宅リフォーム推進委員会」、高齢者対応のリフォームの提案を進める「マンションリフォーム委員会」、埼玉のエコ住宅や再生可能なエネルギーの活用をした街づくりを研究する「サステイナブル研究委員会」、その中で取り組んでいる埼玉環境住宅賞、災害に強い街づくりを図る「応急仮設プロジェクト

クトチーム」などの各委員会の活発な活動を推進すると同時に、平成25年度総会にて前会長が発表しました国の補助事業である「地域型住宅ブランド化事業・コバトンの家」の第3回公募への取り組みや、さらに「木造住宅生産体制強化推進委員会」、「エコタウン&スマートハウス」、「会員増強キャンペーン」などに取り組んで参ります。何とぞ前会長同様のご支援に追加ご指導を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

例えば、子宮がんの原因はヒューマンパピローマウイルスですから、根源的な予防は、決してワクチンと検診でなく、その原因となるウイルスを体に入れないようにすることです。北欧の住宅は、寝室に浴室が隣接しています。体を清潔にすることが、子宮がんのウイルスから体を守ることになるのです。寝室の近くに浴室を作ることが、子宮頸がん予防住宅になるのです。

健康で長生きして寿命を迎えることをピンピンコロリと言います。それに対して、寝たきり状態で長生きして寿命を迎えることは、ネンネンコロリと言います。

ピンピンコロリと ネンネンコロリ

11の質問

- 1 東京都よりも緑の多い地方のほうが長生きだ
- 2 感染症予防には、手洗いが最も大事だ
- 3 歯科主治医がいる方が、いない人より長生きだ
- 4 子宮がんの予防には住居が大事だ
- 5 長野県が長寿なのは、医療事故が少ないからだ
- 6 前向きに生きていく人の方が7、5年長生きだ
- 7 外出しない人は、6年後には、約半分が死亡する
- 8 子どもの生活習慣は、家族の食育が規定する
- 9 夢ある高校生は、喫煙と薬物に手を出さない
- 10 高齢者の寝たきり予防は、口紅化粧身だしなみだ
- 11 ドイツでは、森林、温泉療法が保険で使える

ピンピンコロリもネンネンコロリも長生きです。

日本は世界断トツ、ネンネンコロリ大国です。これを何とかして、ピンピンコロリにしたい。どうやったらピンピンコロリになるか。

寿命を決める大事な要素は、教育、所得と学歴です。それと食事、住居です。

でも私は、もっと大事なものは、口紅、化粧、身だしなみだと思っています。もう一つは、財布を自己管理すること。もう一つは、歯の主治医を持つことです。ね。あと、夢を持つこと、の4つです。

私たちの健康を決めるのは医療でなく、環境が2割、遺伝が2割、残りが生活習慣です。

なぜ東京の人は早く死ぬか、明確な原因はわかりませんが、私は勝手にこんなふうと考えています。

農家の人たちは自分たちで食べる野菜はほとんど農薬を使いませんが、都



市住民向けに出荷する野菜にはきれいに育てるため、農薬を使っています。

また、日本は世界の中で、ダイオキシンの濃度が一番高い国です。イギリスでは、7ヶ所に減らしたごみ焼却炉が、日本にはまだ1500ヶ所ぐらいある

のです。世界で最もダイオキシンを生成しているのは日本です。そればかりでなく環境ホルモンも非常に多くて、子供をみんな産まなくなったのは、実まないとこの意思だけではなくて、実は精子の数が毎年どんどん、どんどん減っているのです。だから、妊娠しにくくなっている事実もあるのです。

このように人工物に囲まれた世界であることから、できるだけ珪藻土とか、泥壁を使ったり、無垢の木材を使ったりすることの大事さをもっと市民とか県民の方と建築会社の方々が共有して欲しいと思います。

ふたたび、ピンピンコロリとネンネンコロリの話に戻ります。

ピンピンコロリの第1位は長野県です。沖縄がいちばん多くて次は福岡県です。沖縄と福岡は、特別養護老人ホームが最も多い県でもあります。今、日本では特別養護老人ホームをたくさんつくっていますけれども、スウェーデンは30年前に全部廃止しました。その代わりに、グループホームをつくったのです。また、デンマークは、新規の特別養護老人ホームは建設禁止となつています。

先日、関東の主な知事が東京に集まって、これから特養を県外につくりましょうなんてことやっています。グループホームをつくりましょう。ひとり暮らしのおばあちゃん、60坪ぐらいの家をグループホームに改良しましょう。住

みなれた場所でもみんなと一緒に住むというの最高です。知り合いのいない遠い場所での一人暮らしは、間違いなく認知症になります。

もうひとつ、一番高齢者が働かない県は沖縄県です。高齢者がやたら使われている県は長野県です。

高齢者の持つているノウハウを活用するので。お祭りもどんどんやってください。高齢者がちゃんと働いていれば働いているほど、寝たきりを減らします。病院がたくさんあったり、特養が多ければ多いほど寝たきりがふえてしまいます。ですから、高齢者の寝たきりをつくりたくないならば働いてもらうこと、外に出てもらうこと、もう一つは病院の受診を減らすことです。実は日本人は病院と薬が大好きな国民です。日本の入院者数は、世界標準から見たら4倍位になります。

2年前に、インフルエンザが流行ったときに、世界の生産量の8割の抗ウイルス薬を消費したのは日本です。高

住居と生存：夢を支援する住居

- ・洗面所：特に子どもと高齢者の感染予防、歯磨き、口紅化粧身だしなみ
- ・子宮がん予防浴室：子宮がん予防住宅
- ・食卓を囲む家族団らん食育
- ・低階層移動：自分で出来ることをしてあげない見守りが、廃用症候群を予防する
- ・子どもの夢とところを育み、全ての世代の生きがいと、人が共に成長する視点から健康な住宅の意義の高さを共有するムーブメントが必要。

血圧を下げる薬は世界生産量の半分を日本が使っています。

病気なんか少しくらいならあつたつていい、生きていく証拠です。もつと自然の治癒力とか、珪藻土の力とか、無垢材の良さとかヒノキの香りとかを活用しましょう。

神奈川県のある会社が、ぜんそくの子供の部屋に珪藻土を塗ったら子供のぜんそくの症状がかなり良くなりました。ほかの住宅会社でも全く同じような事例をお聞きしました。

簡単ではないと思いますが、そのような効果を期待して、もし珪藻土を塗る場合には、子供とお父さんが一緒に塗って、コミュニケーションを深めてほしいと思います。

最後に、やっぱり夢を持って前向きに生きること、それが健康で長生きすることにつながります。きょうの結論です。

星旦二氏プロフィール

1950年福島県南会津郡生まれ、
1978年福島県立医科大学卒業、
1987年医学博士(東京大学)、
1997年英国ロンドン大学留学

職歴

竹田総合病院、東京都衛生局、葛飾北保健所
厚生省国立公衆衛生院、厚生省大臣官房
東京大学大学院非常勤講師、東京医科大学
大学非常勤講師、聖路加看護大学非常勤講師、
東京都立大学助教授、東京都立大学大学院教授

著書

「公衆衛生」医学書院。「高齢者の健康特性とその維持要因」東京都立大学出版会、「都市の健康水準」東京都立大学出版会、「ピンピンコロリの法則」おでかけ好きは長寿の秘訣「ワニブックス」など多数

埼玉住み心地の 第9回 大賞

作品募集

あなたの「良いまち」を募集します!

- 1 応募資格
 - ・応募に必要な資格等はありません。
- 2 募集作品
 - ・埼玉県内の身近な「まち」の良さを再発見し、推薦してください。
 - ・必須項目
 - ①タイトル
 - ②推薦理由
 - ③写真または絵
 - ④地図
 - ・作品はA3判か八つ切りサイズの画用紙等を横使いで作成してください。
- 3 応募上の注意
 - ・9月13日午後5時までに、事務局に郵送又は持参してください。
 - ・未発表の自作品に限ります。
 - ・応募作品は返却しません。
 - ・書籍等での発表・掲載における権利は主催者側が保有します。
- 4 表彰(入選者には賞状と副賞を贈呈します。)
 - ①埼玉県知事賞(1点)
 - ②埼玉県教育委員会教育長賞(1点)
 - ③埼玉県住まいづくり協議会会長賞(1点)
 - ④審査委員長賞(1点)
 - ⑤協賛企業賞(25点)
 - ⑥優秀賞(40点)
- 5 発表
 - ・10月初旬ホームページで発表し、受賞者には通知とともに表彰式の案内を送付します。
- 6 主催等
 - ・主催 埼玉県住まいづくり協議会
 - ・後援 埼玉県、埼玉県教育委員会
 - ・協賛 (株)アキユラホーム、(株)アズ企画設計、(株)エポシステム、(株)OKUTA、カギと防犯の助け舟かぎ丸リスキマネージメントサービス神田屋、キタテ設計事務所(株)銀河、近藤建設(株)、(一社)埼玉県建築士事務所協会(財)埼玉県建築住宅安全協会、埼玉県住宅供給公社、(一財)さいたま住宅検査センター、カギと防犯の芝西防犯センター、(株)住協(独)住宅金融支援機構、昭栄建設(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、(株)高砂建設、(株)中央住宅、(株)中央ビル管理、東京ガス(株)、パナホーム(株)、ホシノ(株)、(株)ボラスのリフォーム、(株)門間工務店、UDI確認検査(株)、(株)LIXIL、(株)リビコー、(株)リプラン、YKKAP(株)

※詳細は協議会ホームページをご覧ください。

環境にやさしく居住性に優れた住宅や住まい手を募集・表彰する「埼玉県環境住宅賞」を開催します。一般の方から建築事業者の方までたくさんの応募をお待ちしています。

1 募集区分及び募集期間
4つの区分がございます。詳細は下図をご覧ください。

2 表彰
・最優秀賞(1作品)
・優秀賞(3作品)
・入選賞(10作品)
・佳作

3 発表
ホームページへ掲載し、受賞者には通知するとともに表彰式の案内を送付します。

4 主催等
・主催 埼玉県住まいづくり協議会
・後援 埼玉県
・協賛 (株)アキユラホーム、(株)アベルコ、(株)OKUTA、埼玉県住宅供給公社、(一財)さいたま住宅検査センター、(株)高砂建設、(株)中央住宅、(株)LIXIL、YKKAP(株)、キタテ設計事務所、近藤建設(株)、(社)埼玉建築士会、(一社)埼玉県建築士事務所協会、(株)篠原商店、(株)東京ガス

※詳細は協議会ホームページをご覧ください。



建築部門	リフォーム部門	住まい手部門	アイデア部門
県内に建築された環境にやさしく居住性に優れた住宅のうち平成15年1月1日～平成25年6月30日までの間に確認済証を受けた住宅	県内に建築された環境に優しく、居住性に優れた住宅のうち、平成25年9月30日までにリフォームした住宅	環境に配慮した住まい方の工夫や住宅を長く使用するためにしている取り組み	環境に配慮した次世代の住宅や住まい方のアイデア(卒業設計や企画案なども可)
建築主、設計者又は施工者	建築主、設計者又は施工者	県内に在住の方	県内に在住、在学又は勤務の方